

四季の杜新聞

2024年度
夏号
【No.008】
☆
四季の杜新聞
編集責任者 荒木



株式会社
匠のケア
四季の杜
デイサービス
〒371-0031
前橋市下小出町
1丁目28-19
TEL 027-225-8011
FAX 027-225-8033



今年の夏も猛暑が続ぎ、「暑いね、何とかならないかね」と毎日皆さんより一言。そんな中、少しでもこの暑さを元気に変えようと、8月29・30日に夏祭りを開催しました。今年丸1日「夏祭りの日」にし、盛大に行おうと企画。利用日ではない方も希望で参加していただき、大いに盛り上がり、と計画したのですが、あいにく台



夏祭り



風10号が日本列島を横断し、予定していた29日は、関東地方を直撃するとの予報が出たため、皆様の安全を最優先し、縮小しての開催となりました



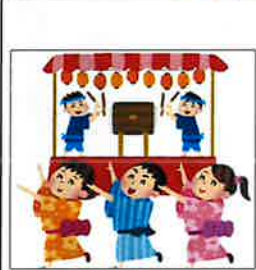
「射的」や「輪投げ」、「ヨーヨー釣り」「綿あめ」のコーナーを用意。綿あめは、「何十年ぶり」と懐かしく思われた方もいらっしゃいました。はじめは慣れず、きれいな丸い綿あめにはならなかったのですが、徐々に上手にお祭りの夜



店で売っているような形に近づきました。射的はなかなか当たらず、的に当てようと、いつもは優しいお顔が、その時はとても真剣な表情をされていました。食事は夏野菜カレーや焼きそばをメインにおかずを選んでいただくバイキング食、そ



れに職員の持ち前の明るさを加え、何とか楽しいお祭りになってきたと思います。台



風の影響で変更を余儀なくされましたが、小さいながらも楽しんでいただけたと思います。



「四季の杜デイ」サービスのご紹介③



業務用のマッサージ機です。



理学療法士による「リハビリ」

いただいた後は暖かくなって気持ちがいいよ」とお言葉をいただきます。柔道の選手でもあったS職員のマッサージは好評です。業務用のマッサージ機やフットマッサージ器も導入し、お風呂を待っていたでいる時間や入浴後、食後の休憩時などに使いたいという好評です。お風呂を待っていたでいる時間や入浴後、食後の休憩時などに使いたいという好評です。



8月30日(土)、今回で2回目となります「お話の会」。ポランティアで市内の学校等で昔話等お話をされている、花岡

お話の会



様がお見えになり、今回は小林一茶の句をクイズ形式でお話しされました。手製の冊子も作りて来て下さり、皆さんはクイズに答えながら楽しくお話を伺いました。



痛に感じる方もおりました。そんな様子を見て、当事業所の職員が、その方の体の状況や座っている姿勢などを考慮し、姿勢が楽になるよう

麻痺や筋力の低下等により、椅子に座っている体が傾いてしまう為、ひじ掛けにもたれかかる等、座っていることが苦



楽な姿勢でお過ごしいただきたい

お知らせとお願い

最近の食材費等の高騰が続き、これまで食材の見直しや業務の効率化、購入先との価格交渉や変更等、食費の維持に努めてまいりましたが、食材費の高騰のみならず、水道光熱費等の高騰も加わり、現在の食事の質の維持が難しくなっております。誠に不意ながら、9月より価格を750円に改定(値上げ)させていただきますことになりました。つきましては、大変恐縮では存じますが、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

開業して3年目を迎えています。玄関の暖簾が色あせてきたため、今回は和風の温泉や料理店のような垂れ幕看板の暖簾にしました。是非ご覧になってください。



新しい暖簾になりました

個人専用のクッションを作成。完璧ではありませんが、以前よりも傾きが解消され、利用者様からも「楽になったよ」と好評です。何よりも職員の「少しでも楽



に座っていただけから」との思いが伝わったようです。



「お米がない」8月に入り急にそんな騒ぎになりました。報道によるとその原因は、昨年の猛暑による新潟地方の不作、南海トラフ地震の心配による買いだめ、インバウンド(訪日外国人)の増加による日本食の消費拡大等によるものの様です。今まで減反政策や、洋食の普及により米が余り、米を食べるようにと推奨のままで流れていたのに。食料自給率が低いこの国の今後はどのようなようになっていくのでしょうか。「米粒を残すと目がつぶれるよ」と祖母に言われていた言葉を思い出します。

【荒木】

スタップのつぶやき